

No.148

国立大学法人 室蘭工業大学  
広報誌

# 蘭 岳

rangaku

- |       |            |       |              |
|-------|------------|-------|--------------|
| 01    | 共創情報学コース新設 | 06    | 室工大OB・OG訪問   |
| 02    | 学長ビジョン     | 07    | むろこーほーの活動    |
| 03-04 | 受賞情報       | 08-09 | NEWS&TOPICS  |
| 05    | 私の研究テーマ    | 10    | 教育・研究振興会について |



# 「情報」×「専門」＝ 未来への価値づくり

令和6年4月 始動

大学院工学研究科 情報電子工学系専攻

## 共創情報学コース

理工学専門分野を駆使して

多様な社会課題を解決に導くことができる

高度情報専門人材を育成します。

共創情報学コース  
に関するお問い合わせは

室蘭工業大学 経営企画課経営企画係  
〒050-8585 北海道室蘭市水元町27-1  
TEL: 0143-46-5047 FAX: 0143-46-5033  
Email: kikaku@mmm.muroran-it.ac.jp



確かな**研究力**を

ベースとした**教育力**

**学長ビジョン** 室蘭工業大学のありたい姿

2019年、室蘭工業大学は大きな一歩を踏み出しました。

室蘭工業大学は、専門×情報の素養を持つ科学技術者を輩出します。  
私たちはそのために「確かな研究力をベースとした教育力」をもって、理工学部を新設しました。

室蘭工業大学は、40年後の北海道を世界水準の価値創造空間とすることに貢献します。  
私たちはそれを「北海道MONOづくりビジョン2060」と名付けました。

日本の少子高齢化は時代とともに進んでいます。  
2004年に141万人であった18歳人口は、2022年には112万人まで減り、  
10年後には100万人を切ってしまう、そういう時代が来るでしょう。

理工学部を卒業していく学生たちの活躍する未来と、北海道MONOづくりビジョン2060実現のために、  
最初の10年間の室蘭工業大学のありたい姿を描きました。

室蘭工業大学長 空閑良壽



VISION

# EVIDENCE BASED POLICY MAKING

エビデンスに基づく柔軟で迅速な改革の推進

MISSION 01

**教育**

Education

地域に貢献できる  
理工系人材の育成

- 専門×情報人材を輩出します。
- 大学院進学率を50%にします。
- 優秀な博士課程学生を育成・支援します。

MISSION 02

**研究**

Research

確かな  
「世界水準」の研究力

- 強みの研究・確かな研究力を輝かせます。
- 世界水準の教育・研究コミュニティをつくります。
- 若手研究者を応援します。

MISSION 03

**共創**

Co-creation

北海道を世界水準の  
価値創造空間へ

- 北海道のカーボンニュートラルに貢献します。
- 北海道のMONOづくり・価値づくりに貢献します。
- 積極的に情報発信します。

# 研究者の受賞

## 清水一進教授と楠本賢太准教授が第9回ものづくり日本大賞で「ものづくり地域貢献賞(北海道経済産業局長賞)」を受賞

**賞の概要** 2023年1月10日に「第9回ものづくり日本大賞」の受賞者が発表され、清水一進教授(もの創造系領域)と楠本賢太准教授(もの創造系領域)の参加するグループが「ものづくり地域貢献賞(北海道経済産業局長賞)」を受賞しました。

<受賞コメント>  
この度の賞を受賞できたことは非常にうれしく、今後の研究の励みになります。関係各位に深く感謝申し上げます。(清水教授)



## 大平勇一教授が化学工学会フェロー表彰を受賞

**賞の概要** 2023年3月14日に行われた化学工学会第88年会において、大平勇一教授が化学工学会フェロー表彰を受賞しました。この表彰は、「化学工学ならびに化学工学会の発展に貢献し、今後も寄与する化学工学会正会員個人」に贈与されるものです。

<受賞コメント>  
今回の化学工学会フェローの表彰は、学内の皆様はもとより、これまで研究室に配属された学生、学外の皆様からのご理解・ご協力があったことと。この場をお借りして皆様にお礼申し上げます。今後も学会活動等を通じて、SDGsやカーボンニュートラル実現をはじめとする未来創造に貢献したいと考えております。また、引き続き研鑽を重ね、研究開発で得られた知見等を本学での学生教育に活かしていく所存でございます。(大平教授)



## 金沢新哲准教授がアメリカ化学会(ACS Publications)から感謝状贈呈

**賞の概要** 金沢新哲准教授(もの創造系領域)が、超伝導の応用分野における論文審査への貢献が認められ、アメリカ化学会(ACS Publications)から2022年ピアレビューワーの表彰を受け、感謝状を授与されました。

<受賞コメント>  
この度、アメリカ化学会から感謝状を授与されたことは非常に嬉しく思います。今後の学術分野での活動に大きな励みとなります。



## 太田香教授が令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞

**賞の概要** 本学の太田香教授が、令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞することが決定し、文部科学省から4月7日(金)に発表されました。文部科学大臣表彰とは、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃え贈られるものです。

<受賞コメント>  
このような名誉ある賞を頂き大変光栄です。この受賞は、室蘭工業大学をはじめ、共同研究者、研究室のメンバーたち、小学校、幼稚園など地域の皆様、そして家族の支えがあったのもです。ここで改めて感謝を申し上げたいと思います。いつもありがとうございます。引き続き、コンピュータ科学分野研究の発展のため貢献できるよう精進して参りたいと思います。



# 学生の表彰

## SATテクノロジー・ショーケース2023「ベストアイデア賞」を受賞

[受賞者]大町 知輝(生化学研究室D1(発表時))  
[発表題目]「不安・うつモデルマウスに対する真珠層抽出成分の効果」

**賞の概要** 2023年1月26日につくば国際会議場(つくば市)で開催されたSATテクノロジー・ショーケース2023において、「ベストアイデア賞」を受賞しました。



## 2022年度笹川科学研究奨励賞を受賞

【受賞者】大町 知輝(生化学研究室D2)

【研究題目】「水産廃棄物アコヤガイ貝殻真珠層の有効利用—機能性食品としての利用—」



2023年4月21日、「2022年度笹川科学研究奨励賞(公益財団法人日本科学協会)」を受賞しました。

<受賞コメント>

この度は笹川科学研究奨励賞を受賞することができ、身に余る光栄に感じております。この表彰はこれまで自分にご指導いただいた長谷川先生や研究室のメンバー、研究活動に取り組む中でお世話になった学内外の方々など、多くの皆様のご協力があって得られたものだと考えています。この場を借りて、関係の皆様へ深く感謝申し上げます。今後も現状に満足することなく、自身の研究のさらなる発展に邁進していく所存です。



## 日本金属学会北海道支部冬季講演大会(2022年度)「奨励賞」を受賞

【受賞者】奥田 昂平(生産システム工学系専攻先進マテリアル工学コース)

【発表題目】「分子動力学法を用いたMgO-Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>-SiO<sub>2</sub>ガラスにおけるAlユニットの構造解析」



2023年1月19日～20日に行われた日本金属学会北海道支部冬季講演大会(2022年度)における発表で、「奨励賞」を受賞しました。

<受賞コメント>

この度、日本金属学会北海道支部奨励賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。今後も研究活動に邁進してゆく所存です。



## プランテックス先端植物研究賞の奨励賞を受賞

【受賞者】佐野 英道(生命有機化学研究室M2)

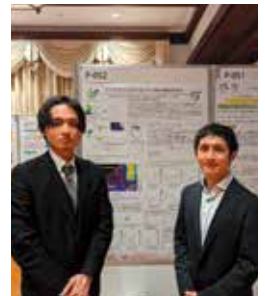
【研究題目】「オンサイトでのシンの成分量及び機能性のセンシング法の確立とこれを利用した最適栽培条件の検討」



2023年1月、第58回プランテックス先端植物研究賞(株式会社プランテックス)の奨励賞を受賞しました。

<受賞コメント>

この度は、第58回プランテックス先端植物研究賞(奨励賞)を受賞することができ、身に余る光栄です。この受賞は私個人の力ではなく、これまで私を指導してくださった上井先生、また、お力添えしていただいた先生方のご指導ご鞭撻のお陰であると痛感しております。本当にありがとうございます。この助成金を活用して、研究の発展に励んで参ります。



## 日本薬学会第143年会学生優秀発表賞を受賞

【受賞者】久保野 真理(生命有機化学研究室 M2)

【発表題目】「チリメンアオジソの収穫時期が葉の品質に及ぼす影響」



2023年3月25日～28日に北海道大学で開催された日本薬学会第143年会における発表で、学生優秀発表賞(ポスター発表の部)を受賞しました。

<受賞コメント>

この度は、日本薬学会第143年会学生優秀発表賞(ポスター発表の部)という大変名誉ある賞を頂き、誠に嬉しく思います。大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。これまで私に貴重なお助言、ご指導をいただきました先生方、ともに学んだ同輩諸氏に、心より感謝申し上げます。賞を頂いたことを励みに、今後も学術的に面白く、アルツハイマー病予防に役立てる研究に精進したいと思います。



## 石油学会第65年会優秀ポスター賞を受賞

【受賞者】市橋 航(環境触媒化学研究室)

【発表題目】「[NaHZSM-5触媒によるLDPE接触分解反応」



令和5年5月29～30日にタワーホール船堀(東京)で開催された石油学会第65回年会における発表で「優秀ポスター賞」を受賞しました。

<受賞コメント>

この度は、石油学会第27回JPIJSポスターセッション優秀賞を頂き、誠に光栄に思います。大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。環境への関心が高まる中、私自身、ケミカルリサイクルに関する研究を最先端で行えることは大変面白いと考えています。その反面、課題も多くあり、環境問題解決への道は非常に険しいと感じております。今後は持続可能な社会の構築に拍車をかけられるように研究活動へ尽力して参ります。本研究を遂行するにあたり、ご指導いただきました本学の神田康晴先生、名誉教授上道芳夫先生に深く感謝申し上げます。



## 第39回希土類討論会学生講演賞を受賞

【受賞者】寺坂 聡志(関根研究室)

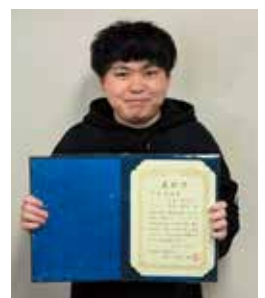
【講演題目】「充填スクワテルナイト化合物ErFe<sub>4</sub>P<sub>12</sub>の高圧合成と磁気的性質」



令和5年5月30～31日に札幌コンベンションセンターで開催された日本希土類学会主催の第39回希土類討論会における発表で「学生講演賞」を受賞しました。

<受賞コメント>

この度は、第39回希土類討論会学生講演賞という大変名誉ある賞を頂き、誠に嬉しく思います。大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。今回の受賞は、日頃から熱心にご指導いただいた関根ちひろ教授及び卒業されていった研究室の先輩方あってのことと、厚く御礼申し上げます。今回の受賞を励みに、今後より一層研究活動に精進したいと思います。



# 認知症でみられる行動・心理的症状(BPSD)に対する 真珠層抽出成分の効果を解明する

大学院工学研究科博士後期課程  
工学専攻先端環境創生工学コース2年 大町 知輝



## —どのような研究を行っていますか？

私たちの研究室では、『真珠が持つ生理活性作用』に着目して研究を行っています。真珠といえば、アクセサリーをイメージされる方が大半だと思いますが、実は中国では古い時代から生薬として利用されており、楊貴妃やクレオパトラも美容のために服用していた文献も残っています。真珠は近視やてんかんに効果があると伝えられ、先行研究では骨の形成を促進させる効果や皮膚に対する美容効果など、さまざまな生理活性作用を示すことが報告されています。しかし、いずれの研究も具体的なメカニズムや有効成分がよくわかっていないのが現状です。

一方、真珠貝であるアコヤガイの貝殻は水産廃棄物として年間10万トン以上廃棄されており、処理しきれない貝殻が沿岸部で山積みされている漁場も多々あります。アコヤガイの貝殻には「真珠層」と呼ばれる、真珠とほぼ同じ組成で構成された内層が形成されていますが、膨大な廃棄量のため、貝殻から発生する腐敗臭や処理コストなどが問題となっています。そのため、真珠の養殖現場では、アコヤガイ貝殻の有効利用が強く求められています。

上記の問題を解決するため、私たちの研究室ではアコヤガイ貝殻の真珠層から生理活性を持つ成分を抽出し、「真珠層抽出成分」として、その生理活性作用や有効成分の解明に取り組んでいます。特に私は、真珠層抽出成分が認知症でみられる「行動・心理的症状(BPSD)」に対して効果を示すかどうか研究を行っています。認知症の主な症状は記憶力や学習能力の低下ですが、90%以上の患者では攻撃的な行動や徘徊行動、不安やうつ病などを示すBPSD症状が併発し、深刻な介護負担を生んでいます。そのため、BPSD症状に対する真珠層抽出成分の有効性を明らかにするため、様々なモデルマウスを用いて研究に取り組んでいます。

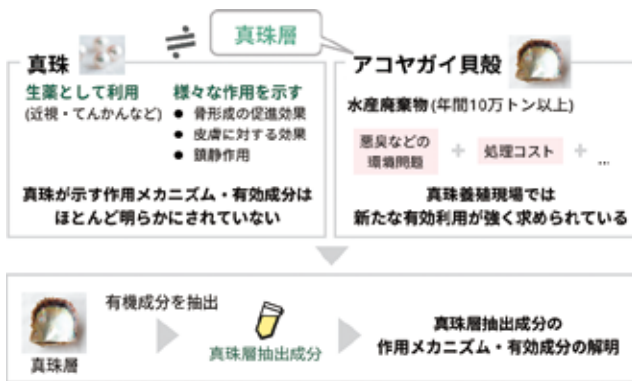


図1.研究背景の概要

## —これまでに、何か発見はありましたか？

これまで私は、リポポリサッカライド(LPS)と呼ばれる試薬を用いて、真珠層抽出成分が抗不安・抗うつ作用を示すことを明らかにしました。LPSを投与すると不安症状やうつ症状を引き起こすことが知られているため、真珠層抽出成分を含む溶液をマウスに1週間投与した後にLPSを投与しました。その結果、LPSのみを投与したマウスでは不安症状・うつ症状が見られましたが、真珠層抽出成分を投与したマウスでは、それら

の症状が抑制されました。さらに作用メカニズムについて調べたところ、不安症状やうつ病に密接にかかわるセロトニン1A受容体を増加させることで、抗不安・抗うつ作用を示すことが分かりました。

また現在、老化促進マウス(SAMP8)に対する効果も調べています。SAMP8マウスは通常のマウスよりも老化が進み、老化が進むにつれて記憶障害や不安症状、うつ症状など、実際の認知症患者と似たような症状が表れます。真珠層抽出成分を含むエサをSAMP8マウスに6か月間与えた結果、SAMP8マウスでみられる記憶障害はもちろん、不安症状やうつ症状、攻撃行動なども抑制されました。これらの結果から、真珠層抽出成分がSAMP8マウスでみられるBPSD症状に対して有効であることが明らかになりました。



図2.粉末状にした真珠層抽出成分

## —特に、注目してほしい点は？

先ほど記したように、真珠に含まれる成分が様々な生理活性作用を示す報告は数多くありますが、脳機能に対する効果についてはあまり報告されていません。特に不安症状やうつ病をはじめとしたBPSD症状への有効性を示したのは本研究が初めてです。また今後、真珠層抽出成分の有効性をさらに明らかにすることができれば、アコヤガイ貝殻の廃棄問題を解決するだけでなく、医薬品や機能性食品といった有効資源へ再利用することにつながると考えています。

## —今後の課題や展望を教えてください。

真珠層抽出成分がBPSD症状に対して有効であることが分かったので、今後は生理活性を示す有効成分を明らかにしていきたいです。またこれまで、おなかへの注射(腹腔内投与)と、エサに混ぜて食べさせる方法の2パターンで、真珠層抽出成分をマウスへ投与していましたが、体内に投与された成分のほとんどは肝臓における代謝や排泄機能によって脳に到達しないことが知られています。しかし実際に、真珠層抽出成分を投与したマウスでは改善効果がみられているため、真珠層抽出成分がどうやって脳に作用しているのかが疑問になります。そのため、真珠層抽出成分が脳に作用するまでの経路を解明することも、今後の課題と考えています。

大町さん、ありがとうございます！

# 室工大 OB・OG 訪問

室蘭工業大学を卒業後、様々な分野で活躍しているOB・OGを紹介します。今回は、瓦井 智貴さんにお話を伺いました。



## 瓦井 智貴さん Tomoki Kawarai

- 出身学科(専攻)/博士後期課程工学専攻先端環境創生工学コース・2021年3月修了
- 出身高校/北海道帯広柏葉高等学校
- 勤務先/室蘭工業大学大学院工学研究科(もの創造系領域)助教・2021年4月入社

### ■学生時代のこと

#### (1)室蘭工業大学を志望した理由、また卒業された学科(専攻)を選んだ理由

北海道出身のため道内の国公立大を志望しており、建築を学びたいと考え本学の建築社会基盤系学科を志望しました。進学後は、講義を受ける中で土木工学の方に興味を持つようになり、最終的には土木工学コースを選びました。

#### (2)所属研究室・研究テーマ、またそのテーマに興味を持ったきっかけ

学部3年生の時に受講した構造力学に関する講義内で、ある構造物の地震応答解析の数値計算例を見せて頂く機会があり、その時に何となく面白そうと思ったのがきっかけです。その後は、希望通り構造力学研究室に配属となり、様々な構造物を対象に有限要素法を用いた3次元の衝撃応答解析を実施し、構造物に衝撃的な荷重が作用した場合の動的な挙動について研究をしていました。

#### (3)大学時代を振り返って、特に思い出に残っていること

サークルや部活に所属していませんでしたので、大学生の内に何かしようと思い参加した、夏季休暇中に本学で開かれている短期留学です。学部1年生の夏休みに参加しオーストラリアのロイヤルメルボルン工科大学に行きました。そこでオーストラリア人の方と知り合えたのはもちろんですが、本学内での交友関係も広がりました。

### ■現在の仕事のこと

#### (1)就職先として志望された理由、担当されている仕事の内容

学部卒業後はそのまま博士前期課程、博士後期課程と進学し、本学の同じ研究室にて教員として働かせて頂いています。当たり前ですが、学生の時とは違い、研究に加えて学部や大学院の講義、大学のイベント、入試のお仕事を少しずつですが担当させて頂いています。



室蘭工大で初開催となるJSBC2023の運営に携わる

#### (2)仕事に面白さ、やりがいを感じるとき

学生の時から、進めていた研究が上手く行き論文として成果になることに達成感を感じていましたが、教員として立場が変わってもそこは同じです。それに加えて、研究室で自分の指導している学生の成長を感じるようなことがあると、やはりこちらも嬉しく思います。土木の構造系を専門としていますので、実験をする場合は非常に危険が伴うのですが、そのような中で学生とともに実験を行い良い結果が出ると、この仕事をしていて良かったと思います。

#### (3)在学中に学んだことや身についたことで、現在の仕事に役立っている、あるいはつながっていると感じる点

そのまま教員になっていますので、基本的には学部や大学院で学んだことは現在の仕事に直接役に立っているかなと思います。特に研究を進める上では、学部で学ぶような基礎的な科目の理解が重要なかなと思います。研究をしながら改めて学びなおす、思い出すことも多いですが。

#### (4)これからの仕事の目標、夢

道路や橋梁、ダム、トンネルなどの社会基盤施設は私達が生活していく上で非常に基本的でかつ重要なものです。現在は少子化の影響で、土木技術者が減少しており、若手の技術者も少なくなっています。そのような中でも、安全な社会基盤施設の維持に貢献できるような日本を代表する土木の研究者を目指しています。



JSBC2023開会式

### ■在学生へのメッセージなど

#### (1)室蘭工業大学の印象・期待することを教えてください

大学の周辺は山で囲まれており、静かな場所で勉強に集中しやすいかなと思います。勉強するかどうかはどこにいても本人次第かもしれませんが、ちょっと行けば海もあり、スーパーや薬局など一通りありますので、良いまちだと思います。大学自体は歴史もありOB・OGが多くいますので、今後も北海道はもちろん日本を支える優秀な技術者を輩出していくことが重要だと思います。

#### (2)在学生に向けて、先輩としてのメッセージ・アドバイスなどをぜひお願いいたします

学部の4年間は短いです。ですので、これを読んだ瞬間から今すぐ何か始めて見て下さい。ゲームやSNS、YouTubeなどの息抜きも大事ですが、興味のあること、今までやりたいなと思ってやってこなかったことに、すぐ今日から挑戦して見て下さい。そしてそれを継続して下さい。継続が難しいのですが、それらをやるのに時間が足りないようであれば、大学院に進学しましょう。ついでに研究もできちゃいますよ。研究をしたければ素晴らしい先生方が本学にはたくさんいますので、ぜひ大学院の進学も視野に入ると良いですね。

瓦井さん、ありがとうございました!



# 学生広報スタッフ

## 「むろこーほー」の活動を紹介します！



室蘭工業大学では、学生目線で大学の魅力を発信するため、令和4年8月から学生広報スタッフ「むろこーほー」が活動しています。大学Twitterでの投稿や公式YouTubeによる企画動画の作成、学内外イベントでの広報活動や室工大カフェTENTOとのコラボ企画など様々な活動をしています。



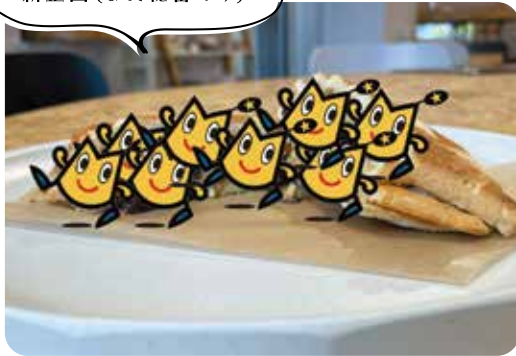
市民懇談会で講演



インフォメーションキャラバン!!



撮りフェス2023 運営サポート (土砂降り)



TENTOホットサンド新企画 (まだ秘密です)



むろこーほー工大祭出展決定!



ムロびよんグッズ検討会議 (まだ秘密です)

令和5年1月から発売を開始した、本学大学公式キャラクター「ムロびよん」のLINEスタンプも、引き続き販売をしております! むろこーほーが企画した、高大生ならではの単語、北海道弁を話すムロびよんなど盛りだくさんのスタンプです!

スタンプは1セット24種類で、250円で販売しています。LINEストアやLINEのスタンプショップから購入できます。

これからも、むろこーほーをよろしくお願いします!

LINEスタンプ

<https://store.line.me/stickershop/product/22113034/ja>







## 01 アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点 第1回ワークショップを開催しました

2023年3月6日(月)に「アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点」の第1回ワークショップを開催しました。ワークショップは「農業を子どもたちに継がせたい生業へ」をテーマに、オンライン、オフライン合わせて約70名が参加し

ました。専修大学の江崎雄治教授による人口問題に関する講演の他、2023年度から新たに「アシルトイタ」共創拠点に参画する研究者による講演と活発な質疑応答が行われました。



▲拠点の取組を紹介する徳楽教授

## 02 エアターボ・ラムジェットエンジン(GG-ATR)ガスジェネレーター 燃焼試験を白老実験場にて実施しました

本学の航空宇宙機システム研究センターにおいて学内で開発中のエアターボ・ラムジェットエンジン(GG-ATR)ガスジェネレーター燃焼試験を白老実験場にて実施しました。過去最長となる60秒の燃焼試験において定格の100、90、80、70%スロットリングを段階的に実施し、スムーズな遷移となるシーケンスを確立しました。また、長秒時の燃

焼を行うにあたり、不着火判定・温度・圧力超過等の自動非常停止判定を担うシステムやデータ収録については新規機材を投入しての二重冗長を組み、万全を期した運用を実現しました。今後は、ターボ系と組み合わせた熱走試験において、今回確立したシーケンスを活用していく予定です。



▲ガスジェネレータ60秒スロットリング試験

## 03 G7ゼロカーボンミーティング洞爺湖でパネル展示を行いました

2023年2月25日に洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラスで開催された「G7ゼロカーボンミーティング洞爺湖」、TEAM「ゼロカーボンいぶり」の一員としてパネル展示に参加しました。本学の脱炭素関連の研究を行っている室蘭+脱炭素Taskforce長の山中真也准教授とクリエイティブ

コラボレーションセンター・カーボンポジティブラボ長の馬渡康輝准教授が参加し、水素吸蔵合金による低圧水素配送、持続可能な社会を構築するための環境触媒の開発、カーボンニュートラルな水素製造による産炭地域創生モデルの構築など、来場者に対して本学の取組を説明しました。



▲ゼロカーボンいぶりの出展者

## 04 北海道札幌工業高等学校と高大連携に関する協定を締結しました

令和5年3月22日(水)、本学と北海道札幌工業高等学校は「高大連携に関する協定」を締結しました。同校は、令和2年度～令和4年度まで、北海道の将来を支えるものづくり人材の育成を目的とした実践的職業教育推進事業(専門高校フューチャープロジェクト)の研究指定校となり、大学や企業等と連携しており、本学においても、全面的な協力をさせていただきましました。こうした背景のなか、高大連

携事業の実施による交流・連携を通じて、理工系分野の更なる興味・関心を高め、工業高校から工業大学への学びの移行を積極的に推進し、また、教職員相互の交流や研修を進めて、相互の教育と研究の発展と活性化を図り、更に北海道の将来を支えるものづくり人材の育成に寄与することを目的として高大連携に関する協定を締結しました。



▲空閑学長(左)と北海道札幌工業高校太田校長

## 05 北海道伊達開来高校と高大連携に関する協定を締結しました

令和5年4月25日(火)、本学と伊達開来高校は「高大連携に関する協定」を締結しました。同校は、令和4年度～令和6年度まで、文科省の事業である「新時代に対応した高等学校改革推進事業(創造的教育方法実践プログラム)」の指定校となり、本学では、「だてコンソーシアム」の参加を通して、これまで事業を支援してまいりました。

本学の指定校に対する事業支援として「ゼロカーボンいぶり」と連携した出前講義やフィールドワーク、「だて学」の指導助言を行い、今後、これまで培ってきた連携関係を一層発展させ、相互の発展とカーボンニュートラルの取組に寄与することを目的としてこの度、協定を締結しました。



▲協定締結の様子

## 06 室蘭工業大学と厚真町が包括連携協力協定を締結しました

令和5年5月8日、室蘭工業大学と厚真町は、共に北海道胆振地域で地域振興に取り組むパートナーとして、それぞれが有する資源を有効に活用し、相互の連携及び協力を図り、地域の活性化と学術の振興、人材育成に寄与することを目的として、包括連携協力協定を締結しました。今後は、厚真町が進める新しいまちづくりやスマートシティに向けた研究活動で連携していくとともに、引き続き、復興に向けた防災に関する連携を継続し、将来の胆振地

域の課題解決から北海道全体の発展につなげることを目指しています。包括連携協定締結式終了後、宮坂町長には、「胆振学入門」の講師として、「胆振東部地震からの復旧・復興、そして創生へ」と題してご講演いただきました。宮坂町長には、平成28年度から同講座の講師を担当いただいております。今年度も存在感のある講演に本学学部学生約100名が熱心に耳を傾けていました。



▲締結式後、宮坂町長が胆振学入門で講演

## 07 「NHK大学セミナーin室蘭工業大学」を開催しました

令和5年5月17日(水)教育・研究3号館N401室において、「NHK大学セミナーin室蘭工業大学」を開催しました。NHK大学セミナーはNHK室蘭放送局との共催で、NHKの番組出演者を講師として派遣していただくもので、今回は「～プロフェッショナル仕事の流儀～」にご出演され、数々のリノベーション事業を手掛ける大島芳彦さん(株式会社ブ

ルースタジオ 専務取締役・クリエイティブディレクター)にご講演いただきました。セミナーには学生、一般市民、企業、教職員約200名が参加し、リノベーション界の開拓者である大島氏が、地域価値創造によるまちづくりの実例などを紹介し、通常の授業では聞くことのできない貴重なお話ばかりで学生がたくさんのことを吸収できる場になりました。



▲セミナーの様子

## 08 N棟と図書館の間にある通路(空間)の愛称が「リクミチ」に決定しました

令和5年3月に「N棟と図書館の間にある通路(空間)」が完成しました。より多くの教職員、学生に親しみをもちてもらうために愛称を募集し、期間中に34件の応募をいただきました。厳正な選考の結果、創造工学科3年 稲船 宏太さんの「リクミチ」が最優

秀賞に決定いたしました。この場が、学生・教職員の皆さまの憩いの場になることを願っております。



▲N棟-図書館接続空間「リクミチ」

## 09 2023年度第1回コンピュータ科学フォーラムを開催しました

2023年度のコンピュータ科学フォーラムの第1回目を、5月10日(水)に教育・研究3号館N401室で開催し、約49名が参加しました。本フォーラムは、今年度4月に発足したコンピュータ科学センターの主催により、次世代研究者挑戦的研究プログラムにおける異分野融合博士人材育成事業の一環として、実施されました。

フォーラムは、第一部として、最初に広島大学の

亀田卓教授による基調講演、電気通信大学の藤井威生教授による基調講演が行われました。第二部は、「SPRINGスカラシップ研究学生によるパネルディスカッション」と題して、次世代研究者挑戦的研究プログラムに採択された本学の学生が自身の研究について5～7分程度の発表を行い、パネリストとのフリーディスカッションを実施しました。



▲SPRINGスカラシップ学生による発表の様子

## 10 室蘭工業大学スペシャル2days! インフォメーションキャラバン in SAPPOROとテクノカフェを開催しました

令和5年7月15日(土)にインフォメーションキャラバン in SAPPORO、16日(日)にテクノカフェを紀伊國屋書店札幌本店で開催しました。本学の特色ある教育・研究・地域貢献の取り組みを、市民の方に広く知ってもらい、また高校生に本学のPRをするために開催するもので、札幌市を中心に合計16回の開催をしてきました。3年振りに札幌で開催した今回のメインイベント、SPECIAL TALK SESSION(スペシャルトークセッション)では、「人工知能の未

来について～ChatGPTのような大規模言語モデルの未来～」と題し、YouTuberのラムダ技術部さんと本学ものづくり基盤センター教授の清水一道先生が、実際にパソコンを使用した実演などを通じて、人工知能のこれからについて語りました。その他にもものづくり体験教室での鋳造体験や学生広報スタッフ「むろこーぼー」による特別対談、入試相談コーナー、様々な実験を体験できる科学屋台など、多くの方々が参加しました。



▲スペシャルトークセッションの様子

# 国立大学法人室蘭工業大学教育・研究振興会

室蘭工業大学の教育・研究の発展に資するとともに、  
地域及び我が国の経済・社会の発展に寄与することを目的とし、  
「室蘭工業大学教育・研究振興会」では「学生等修学支援事業基金」  
及び「研究等支援事業基金」を設置し、  
経済的な支援が必要な学生に対する事業や、  
学生が行う研究を支援する事業を運営しています。

## 学生等修学支援事業

経済的理由により修学が困難な学生等を対象とした

- ・授業料等の減免
- ・奨学金の給付
- ・海外渡航支援
- ・新型コロナウイルス発生に伴う経済的困窮学生支援

## 研究等支援事業

学生又は不安定な雇用状態にある研究者を対象とした

- ・公募プロジェクトにおける研究活動に要する費用補助
- ・研究活動の成果発表に関する必要なものの補助
- ・研究者の資質及び能力向上のための研究者間交流の促進

クレジットカード払い、郵便振込、銀行振込または現金により  
ご寄付を受け付けています。

詳細は以下のQRコードからご確認ください。



## 税制上の優遇措置があります

(1) 個人からのご寄附の場合

①所得税については、寄附金控除の対象となります。平成28年度  
の税制改正により、寄附者の税額が従来よりも大幅に軽減され  
る税額控除が導入されました。各寄附者の税率に関係なく、所  
得税額から直接寄附金額の一定割合が控除されます。

(寄附金額-2,000円)×40%=控除対象額→所得税額から控除  
※1 寄附金支出額が、総所得額等の40%に相当する金額を超  
える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄附金  
となります。

※2 控除対象額は、所得税額の25%までとなります。

②個人住民税の寄附金控除については、自治体が条例で指定した  
寄附金が控除対象となります。室蘭工業大学は、現在、北海道  
並びに室蘭市、登別市及び伊達市から指定を受けています。

(2) 法人からのご寄附の場合

寄附金の全額を法人税法上の損金に算入することができます。

広報誌蘭岳をお読みいただき、ありがとうございました。

今後の蘭岳の改善や充実を図るため、アンケートを実施しています。

アンケートにご協力いただいた方に、本学オリジナルグッズを進呈いたします。

ご希望の方はアンケート回答時にEメールアドレスのご入力が必要となります。

下記QRコードによりアクセスしてください。

(回答期限:令和5年11月30日(木))

ご協力よろしくお願いします。





X (Twitter)  
@Muroran\_IT



Instagram  
@muroran\_it



YouTube  
@muroraninstituteoftechnolo3424

国立大学法人室蘭工業大学広報誌  
蘭岳第148号

令和5年9月29日発行  
室蘭工業大学広報室  
〒050-8585  
室蘭市水元町27-1  
TEL: 0143-46-5014  
FAX: 0143-46-5032  
E-mail: koho@muroran-it.ac.jp  
URL: <https://muroran-it.ac.jp/>

